株主価値最大化(MSV)

「株主価値最大化」を経営上のミッションとし、 富の創出を図る



SDGs·ESG の視点を経営の中核に位置付け、「株主第一主義」とは一線を画し、 お客様・従業員・取引先・社会などへの責務を果たした上で残存する「株主価値」の最大化に尽力

当社グループは経営上のミッションとして「株主価値 最大化(MSV)」を掲げています。いわゆる「株主第一 主義 とは一線を画すもので、SDGs・ESGの視点を 経営の中核に位置付け、お客様・従業員・取引先・社会 などへの責務を果たした上で残存する「株主価値」の 最大化に尽力し、富の創出を図っていく考え方です。

上図の通り、P/L項目をステークホルダーとの関係で 対比させると、売上収益は顧客、製造・販売費は取引先、 人件費は従業員、金利は金融機関、税金は政府にそれ ぞれ対応します。MSVにおいては、まずこれらのステーク ホルダーに対するそれぞれの責務を充足することが 大前提となります。なお、「責務の充足」には法的な

契約だけでなく、社会的、倫理的責務も含まれており、 「サステナビリティ」の概念も包含されています。

そして、各ステークホルダーへの責務を果たした上で 残存する価値を最大化し、かかるリスクをとって投資 してくれた株主に報いることがMSVです。各ステーク ホルダーへの「上限のある」責務を充足させることが 必要条件であり、株主価値はその充足後の残余価値 となります。MSVは、あくまで「中長期的な」株主価値 最大化を志向しており、短期的な最大化を追求する考え ではありません。



当社グループの主力事業である汎用(建築用)塗料 事業には「地産地消」という特徴があるように、ホール ディングス(持株会社)である当社からグループ全体を 横断的に統制することは、あまり意味がありません。 むしろパートナー会社同士が互いに学べるものは学び 合い、グループとしてのシナジーを創出していくこと こそ重要です。

そこで当社グループが編み出したのが、国内外の パートナー会社で自由闊達に協力し合い、シナジーを 発揮させることを目的とした「力強いパートナーシップ」 という手法です。これは中央集権的なコントロールでは なく、グループ共通の"Purpose"のもと、各地のパート ナー会社が各社間での有機的な連携・協働を進め、 自律的(Autonomous)な成長を追求するという考え 方です。ガバナンスの観点から、パートナー会社の CEOの選解任や財務戦略はグループ経営トップとして ホールディングス会社の経営陣が判断しますが、それ 以外の部分については、各社の自律的な取り組みに よって多様なグループシナジーを発揮させていきます。

これによって、買収先と既存グループ会社との協業 から発生する新たな成長機会の発見や、調達の共通化 による原価削減、優秀な人材の獲得、ベストプラクティス の共有などを通じ、自律的なシナジー創出をグループ 内に数多く生み出していきたいと考えています。